



KAKEHASHI2017（招へいプログラム）の記録 （対象国：アメリカ、連邦議会関係者第1陣）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から連邦議会関係者9名が、2017年8月20日～26日の6泊7日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、伝統文化体験、諸機関との交流等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ちました。

【参加国・人数】

米国：9名

【訪問地】

東京都、広島県、山口県、京都府

2. 日程

8月20日(日)	成田国際空港から入国
8月21日(月)	【講義、意見交換】外務省 【講義】首相官邸 【講義】防衛省 【表敬訪問】衆議院議員 【意見交換】在日米国商工会議所（ACCJ）
8月22日(火)	【視察】築地市場 【講義】国家安全保障局（NSS） 【講義】海上保安庁 【意見交換】OECD 東京センター 広島県へ移動（【視察】新幹線運転台）
8月23日(水)	【講話】被爆体験講話 【視察】広島平和記念資料館、原爆死没者慰霊碑、原爆ドーム 【視察】海上自衛隊岩国航空基地、米海兵隊岩国航空基地 京都府へ移動
8月24日(木)	【文化体験】座禅と抹茶体験（勝林寺） 【視察】東福寺、伏見稲荷大社 【視察】月桂冠大倉記念館
8月25日(金)	東京都へ移動 【意見交換】外務省若手職員
8月26日(土)	成田国際空港から出国

3. プログラム記録写真

	
8/21【講義】外務省	8/21【講義】防衛省
	
8/22【視察】築地市場	8/22【講義】海上保安庁
	
8/23【講話】被爆体験講話	8/24【文化体験】勝林寺 座禅と抹茶体験

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 充実した教育プログラムに満ちた、大変に素晴らしい旅でした。

日本人、そして日本の文化、歴史、防衛、政治について多くを学びました。限られた時間の中でこれだけのものを学べたのは驚くべき事です。また日本に家族を連れて来られる日が待ち遠しいです。

◆ 防衛省、外務省が相互安全保障について率直に情報を共有して下さった事に感謝しています。今回の旅は政府関連機関との議論と文化体験を大変上手く混ぜてありました。そのため日本の過去、将来、そして米国との関係がよりわかりやすかったです。

◆ 外務省のプレゼンテーションはとても多くの情報を提供し、専門的で TPP-11 や日米経済関係推進継続の機会について初心者が理解を深める事が出来るものでした。また OECD 代表者との面会では日本が直面している課題や、日米が協力してこれまでに学んだことを共有し共に経済成長を推進する機会について理解をする事が出来ました。

広島平和祈念公園視察、被爆体験者講話は本当に特別なものでした。

核兵器拡散防止を目標に活動を推進している専門家として、私は記念碑、資料館、そしてボランティアの体験講話に共鳴いたしました。

全ての防衛の専門家の来日時には、これらへの訪問を旅程に含めるべきだと思います。